農場聞き取りシート

以下【　　】の間に記入 or 数字に〇

獣医師記入項目	
農場識別名	【　　】
135日齢までの1年間 死亡頭数･死亡率 (死亡頭数/導入・生産頭数)	死亡頭数【　　】頭　死亡率【　　】%　期間(　　)年(　)月から (　　)年(　)月まで
270日齢までの1年間 死亡頭数･死亡率 (死亡頭数/導入・生産頭数)	死亡頭数【　　】頭　死亡率【　　】%　期間(　　)年(　)月から (　　)年(　)月まで
270日齢までの1年間 **呼吸器病**発病頭数･発病率 (発病頭数/導入・生産頭数)	発病頭数【　　】頭　発病率【　　】%　期間(　　)年(　)月から **※分からない場合はおおよその%のみでOK**　(　　)年(　)月まで
270日齢までの1年間 **下痢症**発病頭数･発病率 (発病頭数/導入・生産頭数)	発病頭数【　　】頭　発病率【　　】%　期間(　　)年(　)月から **※分からない場合はおおよその%のみでOK**　(　　)年(　)月まで
農場の特徴(飼養方法等) 担当獣医師として 一般的な他の農場と違うと 思うところ	(自由記入)
以下のリスト記載項目で、記入欄の都合上書ききれなかったこと	(自由記入)
プロファイルに関して 相談したいこと	(自由記入)

聞き取り or 農場記入項目 ①	
調査時飼養頭数	
〈子牛(270日齢まで)〉	ホルスタイン【　　】頭、 黒毛和種【　　】頭、F1【　　】頭、その他【　　】頭
〈未経産牛〉	ホルスタイン【　　】頭、 黒毛和種【　　】頭、F1【　　】頭、その他【　　】頭
〈経産牛〉	ホルスタイン【　　】頭、 黒毛和種【　　】頭、F1【　　】頭、その他【　　】頭
〈肥育牛〉	ホルスタイン【　　】頭、 黒毛和種【　　】頭、F1【　　】頭、その他【　　】頭
生産方法	AI【　　】%、ET(体内胚)【　　】%、ET(体外胚)【　　】%、その他【　　】%
生産･導入割合(複数品種･異なる時期に導入している場合は別紙に追加で記載)	
〈子牛(270日齢まで)〉	自家生産【　　】%、 導入【　　】%、 導入する品種【　　】 導入の時期(日齢or 月齢)【　　】
〈未経産牛〉	自家生産【　　】%、 導入【　　】%、 導入する品種【　　】 導入の時期(日齢or 月齢)【　　】
〈経産牛〉	自家生産【　　】%、 導入【　　】%、 導入する品種【　　】 導入の時期(日齢or 月齢)【　　】
〈肥育牛〉	自家生産【　　】%、 導入【　　】%、 導入する品種【　　】 導入の時期(日齢or 月齢)【　　】
病原体のスクリーニング (呼吸器病に限らず)	1.行う 対象の病原体【　　】最新の結果 【　　】% 複数実施する場合 対象【　　】最新の結果【　　】%　2.行わない
最初の牛群編成の時期	約【　　】日齢
牛群の編成方法について	1. 日齢で牛群を編成する、2. 体格で牛群を編成する 3. その他【　　】
農場内での牛房の移動について	1. 一度牛群を編成したら育成期の間は基本的には編成を変更しない 2. 日齢や体格毎に牛房を決めており、頻繁に移動･再編成を行う 3. その他【　　】
去勢の時期	約【　　】日齢
除角の時期	約【　　】日齢

農場聞き取りシート

聞き取り or 農場記入項目 ②	
初乳給与について (複数選択可能)	1. [生後6時間以内に体重の5%以上、生後12時間以内に(トータルで)体重の10%以上、生後24時間以内に(トータルで)体重の15%以上] となるよう強く意識 2. [生後6時間以内に体重の10%以上、生後12時間以内に(トータルで)体重の15%以上、生後24時間以内に(トータルで)体重の20%以上] となるよう強く意識 3. あまり給与時間・量を意識していない
初乳の種類 (複数選択可能)	1. 初乳製剤のみ、2. 親の初乳のみ、3. 冷凍初乳、4. 初乳製剤・親の初乳併用、5. 初乳製剤・冷凍初乳併用、6. 親の初乳・冷凍初乳併用、 7.初乳製剤・親の初乳・冷凍初乳併用 8. それ以外【　　】
強制哺乳方法について	1. 哺乳瓶のみ(哺乳瓶から飲まなかったら諦める)、2. 最初から強制胃カテーテル、3. 哺乳瓶で飲まなかった時は胃カテーテル
初乳のIgG含有量	1. 初乳製剤中の合計IgG量が100g以上、2. 初乳製剤中の合計IgG量が100g未満、3. 初乳製剤中のIgG量はわからない 4. 初乳のBrix値が20%以上になるよう強く意識、5. よく初乳のBrix値が20%未満になる、5. 初乳のBrix値はわからない
初乳による移行免疫がうまく行っているかの評価	1. 給与後の血液検査を全頭実施、2. 給与後の血液検査をときどき実施 3. 全くしていない
平均母子分離時期	約【　　】日齢
平均離乳時期	約【　　】日齢
最大哺乳量	【　　】L/day or 【　　】g /day
離乳の段階について	1. いきなり切る、2. 漸減、3. その他【　　】
離乳の判断について	1. 日齢【　　日齢】、2. スターターの給餌状況、3. 体重
離乳時のスターター給与量	【　　】g
空間消毒	1. 次亜塩素酸水、2. やらない、3. その他【　　】
ハッチの消毒(複数選択可)	1. 石灰乳、2. 熱湯、3. オルソ剤、4. 乾燥、5. やらない、6. その他【　　】
牛舎消毒(複数選択可)	1. オールアウトし牛舎消毒; a. 薬剤噴霧、b. 発泡洗浄、c. その他【　　】 2. オールアウトせず(他の牛がいる状態)で消毒; a.薬剤噴霧、b. 発砲洗浄、c. その他【　　】　3. やらない
抗菌薬の治療以外での予防的投与	1. していない、2. 実施している(【　　】日齢、薬剤名【　　】) 複数回の場合の詳細【　　】
病畜の隔離	1. 病畜専用の牛舎へ移動、2. 病畜専用の牛房へ移動 3. 専用の隔離場所はないが、隔離できる場所に移動 4. 隔離措置は特に行わない、5. その他【　　】
子牛へのワクチンについて (複数選択可)	1. 生後すぐ鼻腔粘膜生(TSV等)、2. 生後すぐ呼吸器不活化、 3. 生後すぐ呼吸器生(ｶｰﾌｳｨﾝ6等)、4. 1カ月齢前後で鼻腔粘膜生 5. 1カ月齢前後に呼吸器不活化1回、6. 1カ月齢前後から呼吸器不活化2回 7. 1カ月齢前後に呼吸器生1回、8. 1カ月齢前後から呼吸器生2回 9. 投与なし、10. その他【　　】
母牛ワクチン投与について (複数選択可)	1. 母牛呼吸器不活化(ｽﾄｯｸｶﾞｰﾄﾞ、ﾎﾞﾋﾞﾊﾞｯｸ5等) 2. 母牛呼吸器生(ｷｬﾄﾙｳｨﾝ6等)、 3. 母牛下痢5種不活化 4. 投与なし、5. その他【　　】
分娩房について	1. 全頭分娩房で分娩、2. 分娩房はあるが足りていない、3. 分娩房はない
分娩時の介助について	1. 獣医師を呼んで介助する割合【　　】% 2. 従業員だけで介助する割合【　　】%
母牛の妊娠末期～泌乳期MPTについて	1. 1年以内に実施をしている、2. 1年以内に実施していない
増し飼いについて	1. BCSを参照し個別で実施している、2. 全頭実施している、3. していない
増し飼いの開始時期	分娩【　　ヶ月前 or　　週前】
全従業員数	【　　】人